



本学の教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー)

- 建学の精神である「自主独立」のもと、卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマポリシー)※に掲げる人材を育成するために、以下のとおりカリキュラムを編成しています。 ※ディプロマポリシーはp5に掲載
- ディプロマポリシー達成のため、シラバスに全授業科目の到達目標、学習方略、評価方法を明記し、学習計画を提示します。
 - 歯科医学と生命体との関連性を念頭においた一貫教育を実施します。
 - 初期教育として歯科医学生に必要な自然科学、人文・社会科学、語学教育、情報科学教育を行うとともに、医療人の基礎となるコミュニケーション能力、倫理観、プロフェッショナリズムに関する教育を実施します。
 - 医療英語コミュニケーション学習や姉妹校への短期留学により、医療従事者としての国際感覚を醸成します。
 - PBLテュートリアルにより、論理的思考に基づく問題解決能力、科学的探究心を養成します。
 - 歯学教育モデル・コア・カリキュラムを基本とした基礎医学、臨床歯科医学に関する教育を実施するとともに、臨床能力の習得をめざし基礎と臨床を統合した教育を実施します。
 - 診療参加型臨床実習の準備教育として、臨床実習前に臨床歯科学の講義による知識の習得のみならず、臨床基礎実習(シミュレーション実習)による技能・態度の習得を目指した教育、ならびに医療スタッフの一員として参加するに必要な社会歯科学の教育を実施します。
 - 学生が医療スタッフとして参加し、その一員として診療業務を分担しながら、歯科医師としての知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶため診療参加型臨床実習を実施します。
 - 超高齢者社会のニーズに対応できる歯科医師を目指して訪問歯科診療の臨床実習を実施します。
 - 全身管理および他職種連携を常に念頭においた臨床実習を実施します。
 - 教育課程の進級審査において、シラバスに目標として掲げられた能力を適正に評価します。

生命歯学部での学び

キャンパスライフ

学生サポート